



坂口満宏

告井幸男



小林瑞穂

日本史コース



母利美和

梅田千尋



小原嘉記

史学科教員



桑山由文

西洋史コース



本田毅彦



山田雅彦

谷口淳一

東洋史コース



箱田恵子

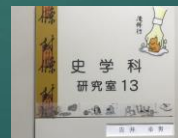


藤本猛

在学生の
Y.H.さん画

告井幸男 (つげい ゆきお)

- 専門分野：日本古代史
部民制など列島の初期の国家の様子、大化改新を経て律令制を取り入れて国制が展開していく過程、平安時代の貴族社会・官人社会や朝廷儀式などを研究しています。
- おもな担当授業：
 - ・ 日本史概論 A：原始・古代から中世までの概説を行います。
 - ・ 史学基礎演習 A：文章を読み、レジュメなどにまとめ、報告・発表・プレゼンする能力を養います。
 - ・ 日本史入門演習：基礎的な文献・史料の読解力を身に着けます。
 - ・ 日本史演習 I：古代の史料（漢文）をスラスラ読めるよう訓練します。
- ゼミの様子
ゴールドスライム、ぐでたま、鳥獣戯画、あまびえ、N46MODE、オタマトーン、peleが目印です。



小原 嘉記 (こはら よしき)



鎌倉期の宝篋印塔 (上) と宝塔
(右) いずれも近江国野洲郡

優美な造形に心があらわれます！

専門：日本中世史

平安時代後期～鎌倉・南北朝時代にかけての地方支配制度について研究していますが、近年は鎌倉時代の東大寺再建事業にも興味関心をもっています。

おもな担当授業：日本史特殊講義 5, 日本古文書Ⅱ

講義では鎌倉時代の東大寺再建事業を取り上げて中世の政治・社会・文化の諸相について解説しています。古文書の授業は古代・中世の古文書の様式を解説するとともに実際にくずし字辞典を参照しながら古文書の解読にも取り組んでいます。

ゼミの紹介

中世法の原文を読みながら、当時の法慣習や中世人の思考様式について探究を深めています。また「歩いて学ぶ歴史学」を標ぼうして京都・奈良・滋賀へ出向いて現地踏査を行うことも試みています。

うめだちひろ
梅田千尋

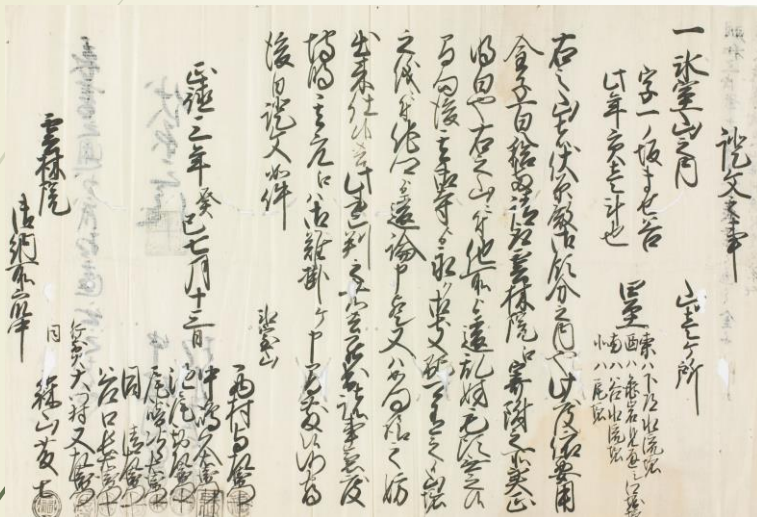
(日本近世史)



- 専門分野：近世日本の宗教社会史(とくに江戸時代の陰陽道)
暦や民間信仰と宗教者 生活のなかの呪術と「科学」
- 主な担当授業：「日本史特殊講義」では、陰陽道から見る日本の歴史/江戸時代の朝廷と寺社 をテーマに近年の研究を紹介。
「日本史講読I」では京都の近世史料を読んで現地見学をします。
- ゼミ・卒論：近世(江戸時代)を中心に、社会史・宗教史・生活史・思想史など多岐にわたります。最近の卒論テーマは、「近世大坂の出版文化」「飯盛女の存在形態」「林羅山の神道思想」「皇女八十宮降嫁の構想」「江戸時代後期の医師組合」「近世における祇園会の神輿渡御」「対馬藩朝鮮語通詞」など。史跡巡見や伝統芸能鑑賞・博物館見学も年1~2回開催します。

日本史コース

母利 美和（もり よしかず）



専門分野

幕末・維新期の政治史、彦根藩の藩制機構および藩政史、近世大名家臣団における下級武士の存在形態と役割

主な担当授業

歴史研究の基礎となる「くずし字」で書かれた「古文書」を解読する授業を担当しています。

ゼミ紹介

大学生活4年間の集大成としての卒業論文を、歴史研究の基礎である原史料の解読から挑戦したいと思う学生が集うゼミです。勿論、全員が古文書を解読するわけではありませんが、少なくとも、原史料をじっくり読みこなすことを目標とします。原史料から歴史を考えることで、新しい発見が広がり、歴史を学ぶことが楽しくなります。取り組む史料によっては、誰も解読したことがない、古文書の基礎調査から始めないといけない場合もあります。そうした経験が、皆さんの将来に繋がればと思います。

日本史コース

小林 瑞穂 (こばやし みずほ)



教員紹介

日本近現代史

海の測量や観測を実施し、海図や水路誌を作製・供給していた日本海軍の「水路部」という組織について研究しています。

担当授業

- 「日本史講読Ⅰ」…駐日アメリカ大使の日記から、1930年代～1941年の日本と日米関係を考えます。
- 「日本史特殊講義ⅩⅦ」…1916年創刊の雑誌『婦人公論』を中心に、当時の社会と女性たちについて学びます。
- 「日本古文書Ⅰ」…日本近現代史の一次史料を見て内容を理解し、史料の背景について考える授業です。
- 「史学基礎演習B」…1回生対象。グループ別に日本史・東洋史・西洋史の興味あるテーマを調べ、発表とディスカッションを行います。
- 「日本史入門演習」…1938年創刊の『写真週報』を用いて、学生が各自でテーマを設定し、調べた成果と考察を発表します。

「小林ゼミ」の紹介

日本近現代史に興味・関心を持つ3回生・4回生の学生が所属、卒業論文に向けて研究しています。

小林ゼミ3回生…日本近現代史の研究論文を講読したり、卒業論文の構想報告を行います。

小林ゼミ4回生…卒業論文の執筆に入ります。研究テーマに関係する先行研究の調査、一次史料の調査を行った上で考察を行い、卒業論文を執筆します。

ゼミ生の声

「小林ゼミでは日本の近現代を”明るく楽しく深く”研究しています。当時の新聞や雑誌などから、時代を感じられるのも魅力の一つです。」(4回生)

「小林ゼミでは、日本近現代史を研究しています。十人十色の個性を持ったゼミ生が集まっており、お互いに切磋琢磨し合いながら、卒業論文に向けて研究テーマを深めています。」(4回生)



坂口満宏
Sakaguchi
Mitsuhiro

- **(研究していること)** 日本から海外へ移住した人々の暮らしと文化,
海外から日本にやってきた外国人の暮らしと文化の諸相などを, 細々と研究しています

- **(史学科での担当講義)** 日本史概論B, 日本史講読IAB,
日本史特殊講義, 日本史入門演習、日本史演習など

史学科に着任する時, 日本史・東洋史・西洋史を横断的につなぐ歴史の見方を示してほしいと託され, それ以来, 講読ではロシアを旅した江戸時代の漂流民, 特殊講義では日本にやってきた華僑とチャイナタウンの歴史, 外書講読ではオーストラリアに渡った日本人移民の歴史などを取り上げてきました。

- **(史学科の演習では)** 歴史遺産や文化交流をテーマとしたジャンルを担当し
ています

日本史入門演習では, 世界各地で発行されていた膨大な量の日本語新聞の中に飛び込んでもらい, 自らの視点で史料と向き合い歴史像を再構築する作業の難しさ, すなわち史料を集め, 独力で読解し, 歴史を研究するということが どれほど苦しいことなのか, ということを感じてもらっています。

- **(これまでの卒論では)** 「明治・大正期のピアノ」「京都ハリストス正教会堂の設計者について」「1980年代の若者意識 - 「機動戦士ガンダム」を通して見た世界 - 」「母性保護論争に見る女性たちの近代」「日本統治下における朝鮮の公娼制度」「フランス留学体験と美を求めた近代日本人画家」「植民地台湾における国語教育」……こうした先輩たちの卒論に共通していることは, 徹底的に史料集め, 読み込み, そこから見えてきた歴史像を, たとえつたなくとも自らの言葉で語りつくそうとしたことです。

つぎは, 皆さんの出番です。

東洋史コース・東アジア前近代史ゼミ

藤本 猛（ふじもと たけし）

専門分野

10～13世紀中国の皇帝権力や宦官たちの活動について考えています

主な担当授業

東洋史概論 A：古代～中世中国の歴史を、さまざまなエピソードと大きな時代の流れでみていきます

東洋史講読 II：歴史的背景をふまえながら歴史史料を読解します

ゼミの紹介

学生が調べてきた歴史的なテーマについて

みんなで話し合い、一緒にあれこれ考察します

テーマは古代の宴会や新羅の花郎（ファラン）、道教の地獄などさまざまです

本物じゃないよ
（※念のため）



箱田恵子(はこだ けいこ)

◇専門分野:近代中国の外交史

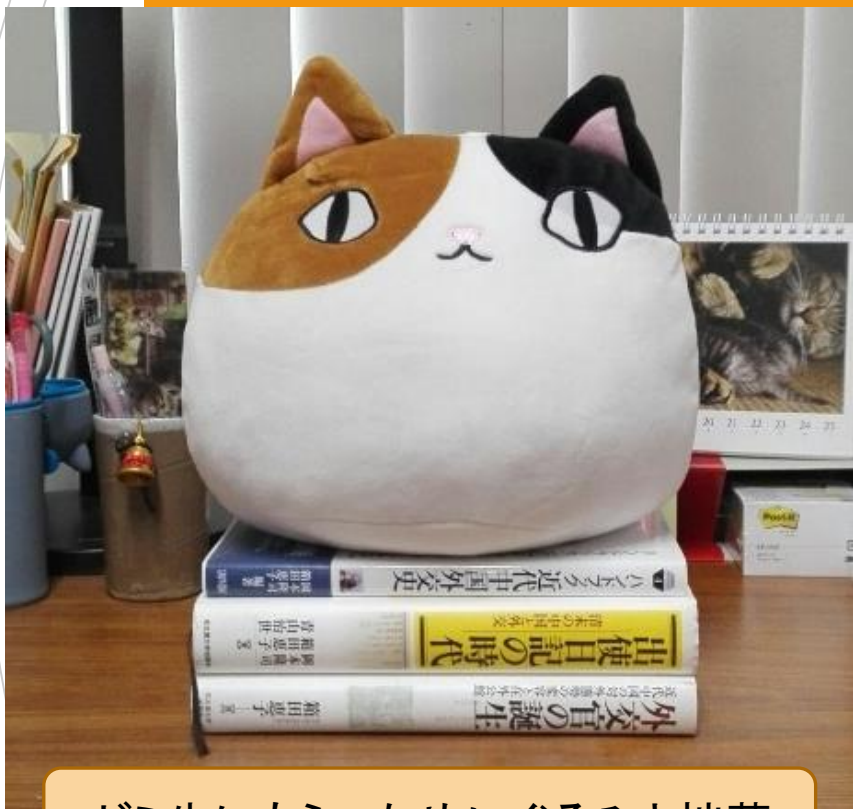
清末の中国が、仲裁裁判などの近代西洋で発達した制度をどのようにして受容したのか、調べています。

◇主な担当授業:東洋史特殊講義7、東アジア史B

東洋史特殊講義7では、近代中国の外交や異文化交流を扱っています。東アジア史Bでは、映画やニュース映像を用いながら、第二次大戦後の東アジアの国際関係や民主化について講義しています。

◇ゼミ紹介

ゼミ生の研究対象は中国(明清～近現代)、朝鮮・韓国、台湾などで、テーマも政治・教育・文化など多様です。各自が文献を読んで発表を行い、ときに私の台湾留学時の体験談を交えたりしながら、皆で討論し、東アジアへの理解を深めています。



ゼミ生にもらったぬいぐるみと拙著

西洋史コース

桑山由文（くわやま ただふみ）



専門分野：ローマ帝政史。とくに皇帝ら帝国中枢と東部のギリシア文化圏（ギリシア本土・小アジアを中心とする東地中海）との関係。

主な担当授業：「西洋史概論B」「史学基礎演習B」

- ❖ ギリシアの英雄ヘラクレスと彼の12の功業を描いたモザイク画（ローマ時代に製作）

ゼミ紹介：私のゼミで扱う範囲は、「西洋古代」としてイメージされやすいギリシア・ローマだけでなく、メソポタミアやエジプト、ケルト、北欧など幅広い地域に及んでいます。ゼミ生はそれぞれの関心に応じて研究テーマを決めますが、政治、社会から神話や美術、建築まで、これもまた色々です。多様な古代世界についてみなで学んでいます。

西洋史分野（中世・近世史）

山田雅彦（やまだまさひこ）

私が専門に研究しているのは、ヨーロッパ中世都市・市場の形成と発展、そこでの市民生活や都市を取り巻く地域社会の変化という問題です。ここ最近では中世の貨幣史にも取り組んでいます。主な研究対象地域は、現在の北フランスからベルギーにかけてです。論文や著書の情報はググってみてください。

ゼミでは、6世紀から18世紀初めぐらいまでの長い期間、中世初期から近世にいたる時代、日本でいえば飛鳥時代から江戸時代前期にかけての長い期間を対象として、さまざまな角度からヨーロッパ社会の諸事件や人物の実像、そして社会の深層について理解を深めていきます。取り上げる地域もほぼヨーロッパ全域です。21年度は、英独仏伊以外にも、キエフ、リトアニア、ハンガリー、カスティリアを対象とした卒論も予定されています。かつてはアイスランドやシチリア、スイスもありました。政治、経済、文化のすべてのジャンルを欧州全域にわたって各自が本気で調べていくゼミです。ゼミはディスカッションを中心に進めています。





京都西郊・物集女（もずめ）の実りの秋（2020年9月、本田が散歩中に撮影）

西洋史コース

本田毅彦（ほんだ・たけひこ）

- 専門分野：西洋近現代史。とりわけ、イギリス帝国の歴史、近現代のイギリスとインドの関係、など。
- 担当授業：「西洋史概論」「西洋史特殊講義」「西洋史講読」「西洋史演習」など。
- EUからの離脱、ハリー王子とメーガン妃の王室離脱など、いろいろと話題を提供してくれるイギリス社会は、歴史学的にも興味深いです。授業では、西洋の近現代史全般を、グローバルヒストリーの観点を意識しながら、説明しています。学生さんの自主的研究を眼目とする「演習」では、2回生の時には、西洋近現代史の基本的な流れを理解してもらい、3回生では、主要な論点に取り組んでもらっています。そして4回生になると、「自分なりの問い」を学生さんに立ててもらい、それへの答えにいたる過程を、卒業論文という形にまとめてもらっています。